

開催レポート

日時：令和5年（2023年）1月23日（月）13:00～16:30

場所：釧路市観光国際交流センター

●じもと×しごとと発見フェアとは

就職活動を始める前や就職先を決定する際に、地域の仕事や企業等を広く知るための**企業展示会**です。若年者の地元の就職を促進するとともに、早期離職防止を図ります。

令和4年（2022年）度 実績

参加事業者数 24社

参加生徒数 152人

（1年生16人、2年生133人、定時制3年生3人）

●開催当日の状況

求人内容を説明する合同企業説明会とは違い、【仕事内容】を紹介する場です。企業等が扱っている製品や写真等を展示したり、実演や体験などを交えた説明に、関心を持った生徒も多かったようです。



林業関係のブースでは、伐木のVR体験等を通じて、林業の仕事について、知ってもらいました。



IT関係のブースでは、ノートPCを使用し、コールセンターの日常業務について、体験してもらいました。



保安関係のブースでは、実際の仕事道具を使用し、鑑識の体験をしてもらいました。

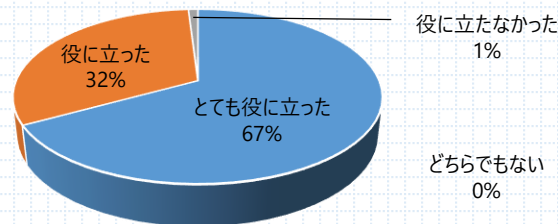
保育関係のブースでは、実際に職場で行っている絵本の読み聞かせを体験してもらいました。



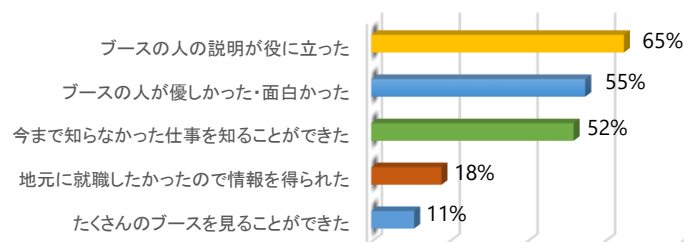
●参加生徒アンケート結果（n=141）

参加生徒アンケートによると、99%の生徒が進路選択の役に立ったと回答しており、役に立った事項としては「ブースでの説明」65%、「ブースの企業担当者が優しかった・面白かった」55%、「知らなかった仕事を知ることができた」52%が上位でした。

(1) 今回のフェアは今後の進路選択に役に立ちましたか？



(2) 「とても役に立った」「役に立った」と回答した方は、どのようなことが役に立ちましたか？（複数回答）



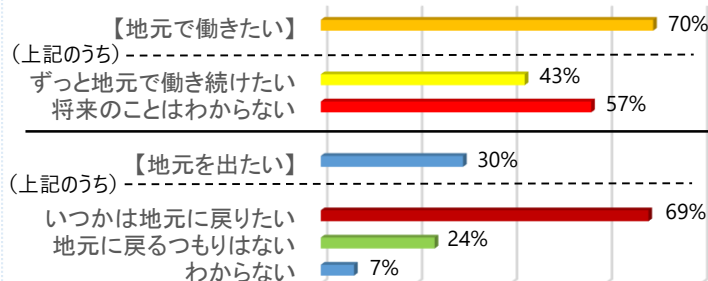
(3) 「役に立たなかった」と回答した方は、なぜ役に立ちませんでしたか？（複数回答）

「役に立たなかった」と回答した2人中、「地元で就職を希望していない」が2人でした。

参加学生のうち、**地元で働きたい**と回答した学生の割合は**70%**で、**地元を出たい**と回答した学生の割合は**30%**でした。

地元を出たいと回答した学生のうち、いつか**地元に戻りたい**と回答した学生の割合は**69%**、**地元に戻るつもりはない**と回答した学生の割合は**24%**、**わからない**と回答した学生は**7%**でした。

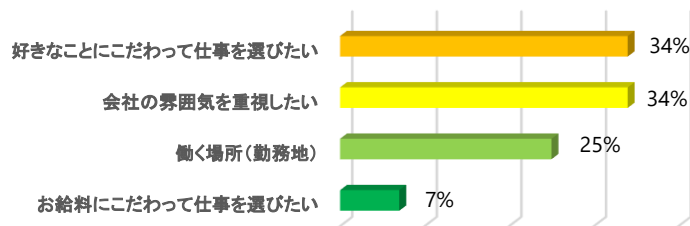
(4) 現在の考えはどれに当てはまりますか？



●参加生徒アンケート結果（続き）

参加生徒の現在の職業観について、回答の割合が高い順では、「好きなことにこだわりたい」34%、「会社の雰囲気を重視したい」34%、「働く場所(勤務地)にこだわりたい」25%、「お給料にこだわりたい」7%でした。

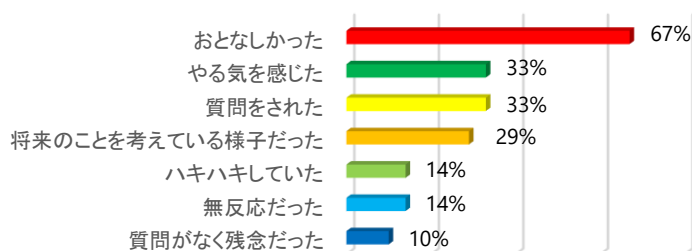
(5) 仕事・働くことについてどう思いますか？
一番考えに合う項目を一つ選択してください。



●出展者アンケート結果 (n=21)

出展者アンケートによると、ブース訪問者の印象について、「おとなしかった」(67%)、「やる気を感じた」(33%)、「質問をされた」(33%)が上位でした。

(1) 本日のブース訪問者の印象を伺います。(複数回答)

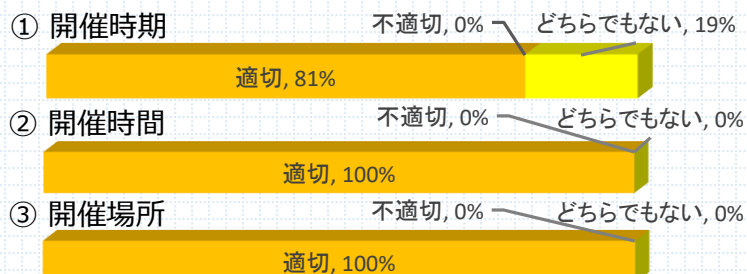


展示会方式での運営、開催時期・時間・場所については、概ね良い・適切との評価となり、説明時間については、適切との意見が多数を占める中、少し短いという意見が一定数ありました。

(2) 本日の運営について伺います。



(3) 開催時期・時間・場所について伺います。



●参加生徒、出展者の意見

○参加生徒

- ・あまり興味がなかった所も見て回れて良い体験になった。
- ・新しい知識や職種を知ることができた。
- ・質問しやすかった。

○出展者

- ・生徒に就職先の選択肢の一つとして、考えて貰えると良いと思った。
- ・毎年開催してもらえたら良いと思った。
- ・多くの学生と話ができ、有意義な時間となった。
- ・楽しく話させていただき、また参加したいと思った。

●総括、今後に向けての課題

○総括

- ・昨年度に引き続き、コロナ禍における感染対策を講じた中での開催となりましたが、関係機関の協力もあり、生徒及び出展者からも概ね好評を得られる結果となりました。

- ・開催時期については、企業としては動きやすい時期との意見があり、概ね適切との評価を得られました。
また、開催時間・場所については、適切との評価を得られました。

- ・訪問先を指定する「指定訪問」については、地域の仕事や企業等を広く知ってもらうという本事業の目的のとおり、半数以上の生徒から「今まで知らなかった仕事を知ることができた」という評価を得られました。

- ・生徒アンケートの結果では、「地元で働きたい」人が70%となり、「地元を出たい」と回答した人のうち「いつかは地元に戻りたい」人を含めると、約90%の生徒が地元で働きたいと考えていることがわかりました。
また、職業観では「好きなこと」や「会社の雰囲気」で仕事を選びたいと考える生徒が全体の68%となりました。

○今後に向けての課題

- ・生徒アンケートの結果では、「地元で働きたい」と回答した人のうち57%は「将来のことはわからない」と回答し、将来への不透明性を感じている生徒が多かったことから、地元で働き続ける姿がイメージできるよう、引き続き、管内企業の魅力や情報を広く発信することで、地元への就職促進や早期離職防止を図ることが重要です。

- ・出展者アンケートの結果では、生徒が「おとなしかった」という回答が67%と最も多く、自ら積極的に質問したり動いたりする生徒が少ない一方で、生徒アンケートで質問しやすかったと回答した生徒や出展者からの働きかけに素直に応じてくれる生徒もいたことから、出展者の情報を事前に周知するなど、生徒のモチベーションを高める工夫を検討する必要があります。

- ・ブースの訪問時間については、出展者アンケートで、説明と体験を同時に行うには少し短く感じるという意見が一定数あったことから、今後はブースの訪問時間の設定など、関係機関と連携して、適切な開催方式について検討する必要があります。